

# 数学

一橋大学 (前期) 1/1

## <全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

### 解答形式

全問記述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

昨年同様に3題は小問がなく、数学の実力差がはっきりと表れるセットである。

### 出題の特徴

整数、確率、図形に関する問題を中心に、数学 I A II B 全体の幅広い分野から出題される。

### その他トピックス

3年続けて空間図形の問題がなかった。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	整数 場合の数	数学A	1000以下の素数が250個以下であることの証明。 様々な方針があるが、どれもすんなりとはいかない。	やや難
2	数列	数学B	ガウス記号を含んだ一般項をもつ数列の和。規則性を調べ、しっかり計算する。	標準
3	2次方程式 図形と方程式	数学I 数学II	(1) 三角形が存在するような $(a, b)$ の条件。 (2) (1)を利用して、 $\frac{b+1}{a^2}$ の値域を求める。	標準
4	図形と方程式 微分積分	数学II	(1) 円と放物線が3個の共有点をもつ条件を求める。 (2) 放物線とその接線と $y$ 軸で囲まれる部分の面積の 最大値。最後は4次関数になる。	標準
5	確率 整数 積分法	数学A 数学II	定積分が0になる確率を求める。素直に積分すると簡単な式になり、典型的な整数問題に帰着する。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

一橋の問題は素直であるが、誘導も少なく、難易度は高い。典型的な問題をマスターしたうえで、過去問の演習でさらに思考力・計算力を鍛えよう。初見の問題に対しても、試行錯誤して解答の方針を立てられるようになろう。